

2008 年度前期 統計学で考える 試験（7月28日）の案内

概略

- 試験会場は、いつもの**K203教室**になります。指定席としますので、教室の前に掲示してある座席表を確認して、正しい席に座ってください。座席表に掲示されているのは学生番号だけで、名前は掲示されていませんので、注意してください。
- 試験時間も、いつもと同じ 8:45～10:15 です。遅刻は試験開始後 30 分まで認められ、また試験開始から 30 分経過後は答案を提出して退出できます。

試験に持ち込めるもの・持ち込めないもの

- 学生証は必ず持参し、試験中は机の上においでください。試験中にチェックします。また、筆記具、電卓、時計は持ち込み可です。
- このほかに、「**A4サイズの紙1枚**」を持ち込み可とします。この紙には、両面に何を書いておいてもかまいません。ただし、別の紙を貼り付けてはいけません。
- これら以外は一切持ち込み不可です。解答に必要な数表は、問題用紙と一緒に配ります。なお、携帯電話を時計や電卓として使うことはできません。
- 上記の規定に違反しているのを発見した場合は、不正行為とみなします。

成績評価の方法

- 成績は、期末試験の結果に 70%、レポートに 10%、出席点に 20%の比重をおいて評価します。
- 8月1日の朝 10:00 までに、可否をメールで通知します。自分の可否に疑義がある場合は、8月1日午後 4:00 までに浅野に連絡してください。浅野は、8月1日はなるべく部屋にいます。
- 再試験等はいりません。ただし、やむを得ない事情で試験が受けられなかった場合は、教養教育履修規程にしたがって、所属学部の教務担当係に申し出てください。追試験を受験できる場合があります。

その他

- 答案は他人に見せる文章ですから、思考の筋道がわかるように、「～とすると,... であるから○○となる」という「日本語」をきちんと書いてください。式や数だけをならべたような答案は、たとえ解法と答えが合っていても減点します。
- 試験の際、トイレ等による一時退出は認めませんので承知しておいでください。
- 採点済みのレポートは、7月17日昼 12:00 より、数理情報科学教室事務室で返却します。